

# ellipse

[エリプス]

## TOPICS

インタビュー

### SDGs時代の家庭科教育実践

～お茶の水女子大学附属高等学校の挑戦～

お茶の水女子大学附属高等学校教諭 葭内ありさ氏

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター  
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人  
お茶の水学術事業会

## REPORT

### 事業報告 (共催講演会)

桜蔭会千葉支部主催講演会「これから女子の生きる道～あなたたちを待っているのはどんな社会か?～」(講師:上野千鶴子氏)

桜蔭会本部主催講演会「留学生を大切に作る日本、文化芸術の価値を知る日本」(講師:滝久雄氏)

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

## INFORMATION

### イベント情報

2019年度セミナー

「こころとからだを拓くレッスン」

事務局よりお知らせ

## インタビュー

# SDGs 時代の家庭科教育実践

## ～お茶の水女子大学附属高等学校の挑戦～

2019年6月22日の朝日新聞に「高校生とアパレル アフリカ支援で協力」という記事がありました。お茶の水女子大学附属高等学校の「家庭総合」の授業で、エシカルブランド「CLOUDY (クラウディ)」と共同でチャリティ商品を開発したとのこと。附属高校の家庭科教諭 葎内ありさ先生にその背景などを伺いました。

### 🍃 家庭科について

家庭科というと、いわゆる衣・食・住のイメージが強い方が多いと思いますが、年金や金融資産、住宅ローンなども扱います。高校では男女共に学ぶ必修科目になって25年目です。昨年、新学習指導要領が発表され、「家族・家庭及び福祉」「衣食住」に加えて「持続可能な消費生活・環境」が一つの領域としてフォーカスされることになりました。これらを科学・政治・経済などの視点で見つめなおして、実生活の行動や技に生かしていくのが家庭科です。暮らしを工夫して創る、いわば幸せになるための教科です。

家庭科のもう一つの特徴として、50%を実習にする（話し合い等も含む）教科であることがあげられます。そのため、生徒が「自分事化（じぶんごとか）」して納得しやすく、各自のアクションにつながりやすい。他の教科、企業やNGOとの連携もしやすいと考えています。

### 🍃 エシカルと家庭科

一葎内先生は全国に先駆けて家庭科の授業で「エシカル」をとりあげたこの分野の第一人者。2015年に消費者庁が「倫理的消費」調査研究会を立ちあげた際には委員に任命されました。一

私が「エシカル (Ethical)」という言葉を知ったのは2011年です。「倫理的な」という意味で、良心にもとづいて、環境や社会貢献に配慮して行動すること全般を指します。当時はまだあまり知られていませんでしたが（認知度は6%程度）、私は、教員になってすぐの頃から授業で児童労働やフェ



葎内ありさ（よしうち・ありさ）

お茶の水女子大学附属高等学校教諭、同大学非常勤講師。お茶の水女子大学生活科学部卒業、同大学院博士前期課程修了後、教員となる。その後、慶應義塾大学法学部を卒業。「家庭科は法を扱う機会も多いため、全体像を把握して教えたい、と思いました」。2010年より現職。文部科学省検定教科書編集委員。エシカル消費の国内外の研究調査を行う。

#### 【主な研究業績】

○英語論文（単著）

YOSHIUCHI, Arisa, (2017). Learning about Ethical Fashion in Home Economics Classes:

Experiences, Lectures, and Information Technology as Tools for Consumer Education, International Journal of Home Economics, Vol.10(2), 64-76. 査読あり 他

○海外研究調査訪問先

仏パリエシカル・ファッションショー、カンボジア、米ポータランド、フィンランド、デンマーク、スリランカ、インドネシア 他

○平成25年度・26年度文部科学省委託事業「消費者教育推進のための調査研究事業」（エシカル・ファッションを通じた消費者教育推進事業）

○科学研究費補助金（奨励研究）

「倫理的消費＝エシカル・ファッションを用いたアクティブ・ラーニングの消費者教育研究」（2014～2016, 2018年）

○著作

共著（2017）, 『アクティブ・ラーニングが育てるこれからの家庭科』 地域教材社 他

アトレード、環境問題等を扱っていましたが、それまで自分のやってきたこととも合うし、家庭科とリンクさせるのにいいなと考えました。そこで、その年の附属高校の公開教育研究会を「エシカル・ファッション」で行ったところ大変好評でしたので、毎年、手法を変えて研究し、国内外の調査と教育実践をつなげています。

2015年にSDGs<sup>\*1</sup>が国連で採択され、エシカル消費やESG投資<sup>\*2</sup>がその具体的な行動であるため、エシカルに注目が集まるようになりました。現在は家庭科の教科書にも載っています。

\*1 Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

\*2 企業の財務情報だけでなく、環境 (Environment)・社会 (Social)・企業統治 (Governance) に関する取組みも考慮した投資。

## 「体験しながら学ぶ」ことが大切

2011年から、高校1・2年生の「家庭総合」でエシカルを扱っています。はじめのうちは2年時のみでしたが、1年時に導入を行い、スパイラルに繰り返す方が効果的であることが分かり、この3年間はそうにしています。

エシカル消費には「フェアトレード」「オーガニック」「産地支援」「社会的弱者支援」「伝統工芸」「リサイクル・アップサイクル」「アニマルウェルフェア」などさまざまなカテゴリーが含まれますので、その中のいくつかに関連する題材を扱い、「体験しながら学ぶ」ことを大切にしてきました。単に教えられるだけでは納得いかないことも、体験を通して「楽しいな」とか「いいな」と感じると、胸に落ち、自分事化につながると考えています。

例えば、徳島の藍染め職人さんにご協力いただきながら、完全天然製法の藍染めにチャレンジした年もありますし、知的障がい者や高齢者の社会参加の手段にもなっている「さをり織り」をとりあげた年もあります。藍染めの手ぬぐいやさをり織りを生徒が制作した天然素材のシャツとアレンジし、班ごとにファッションカタログやプロモーション動画を作らせ、それを見比べながら商品を選択する視点や適正価格について考えました。また、動画メッセージやビデオ通話を利用して、藍染め工房や福祉施設の方々と交流する時間も設けました。生徒は、「藍染めっておじいちゃん、おばあちゃんのものだと思っていたけど、おしゃれで楽しい」と感じたり、あまり接する機会がなかった知的障がい者の方が自分たちの作品を見て喜んでくださる様子を目の当たりにして、親近感やそれまで自分の中にはなかった感情が生まれたようでした。

## 外部との連携

このように外部の方やプロに入っていただくのはとても意味があると考えています。「霞内先生が何か言っているけど本当なのかな？」と思っている生徒たちも、「実際にやっている人がいるんだ」と納得します。

これまで様々な企業や官庁、NGOなどと連携をしてきました。コーヒー豆を運ぶ麻袋で作ったバッグが大人気のエシカルブランドと「一緒にアップサイクルの企画ができないか」と話し合っ、お茶高オリジナルのクラッチバックを作った年もあります。生徒の満足度が高く、身の回りのものをすぐ捨てずにちょっとリメイクしてみたくなったという声などが聞かれました。

ブランドとの連携を考える際には、デザイン性の高さや運営の背景を含め「生徒に響くかどうか」という点を重視します。今回紹介された、チャリティ商品の開発を一緒に行った(株)DOYAもそうです。代表取締役社長の銅冶勇人氏は大学の卒業旅行でアフリカを訪れたことをきっかけに、NPOを立ち上げ、アフリカンテイストを取り入れた高感度なファッションブランドCLOUDYを展開して、現地の教育・雇用の創出を支援している方です。

## 商品開発の経緯

家庭総合では、2年時に服を作るため、1年の3学期に基礎縫いの復習を行います。全員同じ物を作るのではなく、生徒自身が好きなものを考えて作って欲しいと思い、去年と今年は、CLOUDYから提供していただいた50cm×50cmのアフリカの布をひとり1枚ずつ配り、まつり縫い、ボタンつけ、ミシン縫いを必ず入れるという条件で、各自好きなように、商品のプロトタイプを考えてもらいました。できあがった全



2018年と2019年に附属高校の生徒とCLOUDYが共同開発したチャリティ商品

作品を、ブランドの方が中心となって、私も加わり、売りやすいか、量産に向かかといった観点でも検討し、昨年はミトンのセットとワンピース、今年は親子エプロンとエコバッグが選ばれました。生徒が書いた企画書、型紙をガーナの工場に送り、現地のスタッフが作ってくださったものを東京ミッドタウン六本木のイセタンサローネで販売したのです。

通常のチャリティ商品では、チャリティの割合が1%程度であることが多いのに対し、CLOUDYは10%なのです。販売前に銅冶氏が商品のサンプルを持って学校に来てくださり、生徒たちと一緒に話し合い、昨年は給食を、今年は同社がガーナで作る政府認可の中学校に教科書を送ることになりました。



2019年の商品には、ザンビアで作られたフェアトレードのバナナペーパー製のタグが付けられた。片面にはお茶高の校章が、もう片面には「この商品はお茶の水女子大学附属高等学校とCLOUDYの共同プロジェクトとして、高校生の商品企画をもとに、ガーナで生産されました。売上の10%がアフリカの子どもたちが学校で使用する教科書に還元されます」と印刷されている。

というイベントのコーナーを担当してもらいました。生徒が工夫を凝らしたファッションショーや児童労働や伝統芸術などを取り入れたエシカルクイズが好評でした。

2015年に、消費者庁が第1回「エシカル・ラボ」というシンポジウムを開催した際には、私が委員を務めていたこともあり、生徒たちがプレゼンテーションを行いました。倫理的消費に取り組む若者を紹介する「エシカル・メッセージ」というコーナーに登場した彼女たちは、「Everyone Enjoy Ethical」「エシカルは楽しくて、心豊かなことなのです」と発信しました。

さらに2017年には全校をあげて「エシカルな文化祭」を行いました。児童労働で亡くなった女の子の魂が眠るお化け屋敷があったり、間伐材を材料に障がい者雇用で作っているお箸を使ったり、TABLE FOR TWO<sup>\*3</sup>に参加したり…。「お茶高のお茶」というエシカル商品も作りました。これはお茶大公認サークル「Ochas (オチャス)」と、有機茶園の下堂菌が共同開発した商品を小分けにして、森林の持続化に配慮したFSC認証のラベル付きパッケージに入れ替えて販売し、売上を東日本大震災の被災高校生の奨学金として寄付したものです。これは日本初のFSC認証付き商品ラベルになりました。このように自分たちで様々な企画を立てて実行することを通して、生徒たちは、エシカルは難しいことではないし楽しい、ということに気づき、その後の文化祭にも受け継がれています。

\*3 対象となる定食や食品を購入すると、1食につき20円の寄付金が開発途上国の子どもの学校給食になるプログラム

## アウトプットを通して見えてくるもの

もう一つ、私が教育実践の中で大切にしているのは、学んただけで終わるのではなく、学びを人にアウトプットしていくことです。他者に伝達することによって自分事化していくのではないかと考えているからです。

エシカルに関するリーフレットを作ったり、ひとり1個エシカル宣言を考え、動画を作成したり、附属小学校・中学校に教えに行く機会を設けたりしています。総合的な学習の時間の探究活動へ発展させ、「ふくのはなし」(<http://fashion-story.jp/>)というWebサイトを作成したグループもあります(第18回全国中学高校Webコンテスト プラチナ賞・経済産業大臣賞受賞)。このサイトは今でもご覧いただくことができます。

様々な外部のイベントにも出演しました。2013年にはエコプロダクツ(日本最大級の環境展示会)の舞台をプロデュースする機会をいただき、生徒25名に「エシカル・ファッション最前線～10代・20代の考える未来のファッション～」

## 今後のお茶高家庭科教育

本校は2014年度～2018年度まで文科省「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」の指定校でしたが、それが終わり、今年度からは「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」となりました。2023年度までの5年間、「女性の力をもっと世界に～協働的イノベーターとイノベーションを支える市民の育成～」と題した研究開発に取り組みます。私は、そのコア科目の一つである「生活の科学」という家庭科の科目を担当することになりました。

もともと家庭科という教科はかなり科学的なのです。藍染めのお茶も、単に染めて終わりではなくて、どうして青くなるのか、酸化還元って何?という話もしました。持続可能な未来の実現には、エシカルな観点から最先端の科学技術を生かし、社会課題を解決していくことが必要です。エシカルを取り入れつつ科学的なものの見方を喚起する、サステイナブルなSSHの家庭科科目というのを今作っている最中です。

(2019年8月9日取材)

## 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

## 2019年夏キャンプ

【実施期間】2019年8月2日(金)～5日(月)

【開催地】青梅市：(株)ブリヂストン保養所 奥多摩園

【参加内訳】子ども：19名(小学生6名、中学生7名、高校生4名、専門学校生2名)、学生スタッフ・OB/OG(社会人を含む)：44名(途中入れ替わりも含む)、社会人スタッフ・協力者：18名(同上)

【実施内容】	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	夢 スタ ディ
	送迎、開会式、アイスブレイクゲーム	水遊び/自由時間 MY FIVE(学生企画)	自由時間、講演会、音楽会	閉会式、送迎	

夢のつばさプロジェクトの活動も9年目に入りました。開会式では、みんなで楽しく安全に4日間を過ごすためのルールや注意点の確認を行いました。専門学校生は学生スタッフとして活動しました。また昨年度に引き続き、今回のキャンプでも高校受験を控えた中学3年生1名が、大学生の個人教授を受ける「夢のつばさスタディ」に参加し、自分で計画を立てて学生とともに勉強に励みました。最初は少し面倒くさそうにしていたり、遠慮がちだった子ども、すぐに大学生を独占して教えてもら



う楽しさに気づいて、意欲を持って取り組むようになります。

「MY FIVE」は、「自分にとって大切にしたい価

値観を5つ選ぶとしたら何を捨てて何を残すか」を考えるゲームです。少々斜に構えて、保護者からご心配の声のある中高生も、自分はどんな風になりたい

のか、信頼や熱意、感謝などのカードを選び、まじめに、またその子らしく、よき価値をもつ大人になりたいと語って感動的でした。学生たちの周到な準備に頭が下がります。

今回は奈良県立医科大学の梅田智広先生に、地域ぐるみの高齢者見守りシステムの構築や、病院に行かずに自宅でメディカルチェックを受けられるテレメディシンの技術など、人々の健康を支える最新技術を展開しているお話を伺いました。また音楽会では二期会のバス歌手の大塚博章様、ソプラノの大音絵莉様、新進ピアニストの藤原新治様が本格的オペラや演奏を聞かせてくださいました。皆それぞれに感激し、



ただ楽しいだけでなく子どもの成長に益するものと考えて行う企画の意図をきちんと受け止めていることが感じられ、うれしいことでした。

子どもたちも心身ともに成長し、学生たちも、ほとんど年齢差のない年上の子にどう向き合うか、先輩OB/OGに頼るばかりにはしたくない、とさまざまな工夫を凝らしています。難しい時期に入りつつありますが、今後ご支援をお願い申し上げます。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※ 夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 E-mail：tsubasa@npo-ochanomizu.org

## ◆ 事業報告 共催講演会

## ● 桜蔭会千葉支部主催講演会

# 「これから女子の生きる道 ～あなたたちを待っているのはどんな社会か?～」

講師 上野千鶴子氏

社会学者・東京大学名誉教授、認定 NPO 法人ウイメンズアクション  
ネットワーク (WAN) 理事長

【開催日時】 2019年5月12日 (日) 14:00～16:00

【会場】 同窓会コモンズ

【共催】 NPO 法人お茶の水学術事業会

【参加費】 無料 【参加人数】 129名

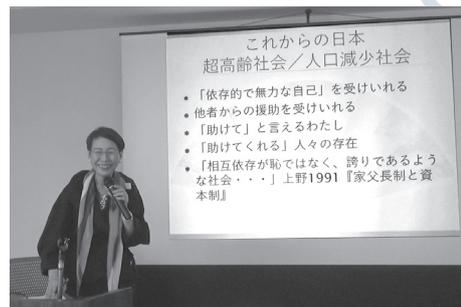
今年3月28日に竣工されたばかりの国際交流留学生プラザ併設の同窓会コモンズにて、柿落としとなる講演会を“時の人”上野千鶴子先生をお迎えして開催いたしました。女子大学同窓会での講演を「直球ど真ん中」と喜んでくださった上野氏のお話の一部をご紹介します。

「国会議員の女性比率は低迷したまま (衆議院 7.8%)。その理由は、女性が被選挙権を行使しないから。私たちは権利の上に眠っている」と、早速、参加者が“自分ごと”として考えさせられるお話から始まりました。参政権を持たなかった敗戦時の女性は、『こんな日本に誰がした!?!』と意思決定権を持つ男性たちを責めることができましたが、現在の私たち女性はこの問いにどう答えるのか…と。

「1980年代半ば、男女雇用機会均等法と労働者派遣事業法が同時期に制定されたが、これはジェンダー平等法制と労働の柔軟化の同時進行。建前平等の代わりに保護規定を返上し、非正規雇用が増大。ネオリベリズム (新自由主義) によって競争が激化する中で、日本にとって最後に残された資源である女性は、男並みの働き方を要求される『総合職』か、使い捨ての労働力としての『非正規』か、という困った二択を迫られる事態となった」とのことです。「そんな社会を30年かけてみすみす作ってしまった」というご指摘に、「長きに渡る保守一党政治を支えてきた有権者」の一人として背筋が伸びる思いでした。

セクハラ問題に関しては、改善されてきた点をいくつか挙げていただきましたが、「女性が我慢し黙認して被害者であり続けることは、実は他の女性の加害者になる」ことも明言され、この言葉は講演後のアンケートで“印象に残った言葉”として多くの人を選んでいました。

子育てにおいては、「アスピレーション (誰にでもある伸びようとする気持ち) のクーリングダウンをしないことが大



切。それは、強者なること、ましてや女が男のようになることを目指すのではなく、できない時に『私できない』『助けて』と言えて、その時に助けてくれる人・人間関係を持つこと (能力やスキルを持った人を調達する能力) が必要」と強調されました。これはやがて弱者になる強者への助言でもありました。

トランスジェンダーの学生の受け入れを始めるお茶の水女子大学の決断については、「時代の変化に応じた快挙」と評していただきました。また、「ユニバーサルトイレ等のインフラ整備の用意や、性別二元制を解体するほどの覚悟があるか」といった貴重なご指摘もいただきました。

ご講演後、沢山の質問が出ました。医学部入試の男女差別が必要悪だと言われることについて「看護師業界が実現している三交代制を医師たちが導入すればよい。現状を変える必要あり」など印象深いお答えをいただきました。満席の会場は熱気に溢れ、アンケートには「大きなヒントを得た」等の言葉が多くあり、各々持ち帰る内容が多い講演会だったと思われます。

申し込み殺到で定員を大幅に超えご来場いただけなかった方のため、6月22日 (土) に同じ会場での講演会のビデオ上映会を開催しました。10代～80代、54名の参加があり、関心の高さが窺われました。



日比野克彦氏制作「レッツ3つの色」に寄せられた講演会参加者からのメッセージ

(桜蔭会千葉支部 村上志保)

## ◆ 事業報告 共催講演会

## ● 一般社団法人 桜蔭会本部主催講演会

## 「留学生を大切にする日本、文化芸術の価値を知る日本」

講師 滝 久雄氏 (株)ぐるなび代表取締役会長 CEO・創業者、  
お茶の水女子大学 学長特別顧問



【開催日時】 2019年5月26日(日) 14:00～16:00  
【会場】 お茶の水女子大学 国際交流留学生プラザ 2階ホール  
【共催】 お茶の水女子大学、NPO 法人お茶の水芸術事業会  
【後援】 作楽会、鏡影会、茗鏡会、ちぐさ会  
【参加費】 無料 【参加人数】 146名

今春オープンしたばかりの国際交流留学生プラザにて、その建設にあたり多大なるご支援を賜りました滝久雄氏をお迎えして、落成記念講演会を行いました。

5月とは思えない猛暑の中、150名近い方が来場され、大盛況でした。

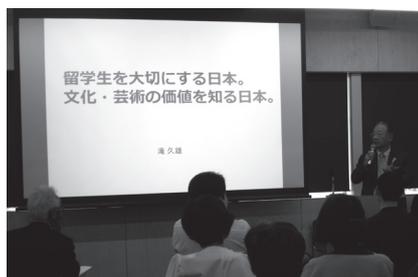
ご講演の内容は、主に次の3点でございます。

**貢献心** 貢献心とは「他人のため」を「自分のため」ととらえ、人のために自分を役立たせたいという強い気持ちのことで、友人の兄の若くしての死と自身の難病体験から、貢献心は人間の本能だと考えるようになった。

**留学生** 留学生を徹底的に大切にすることを20年位前から提言し、実践している。留学生は外交官だという気持ちで、町ぐるみで大切に交流することで、日本のファンが増え、将来のよりよい国際交流が生まれるはずだ。この留学生プラザも是非有効に使って欲しい。

**パブリックアート** パブリックアートは、庶民のための芸術である。駅や公共施設など誰でも入ることのできる場所に一流の芸術を置くことで、無意識のうちに誰でも芸術に親しむことができる。日本では芸術は贅沢だという意識が残っているが、ようやく国でも「文化芸術基本法」でパブリックアートの振興を明文化した。

これからはますます日本は経済だけでなく芸術文化の面でも世界から尊敬される国になるといい。パブリックアートには40年以上前から取り組んでおり、5月26日現在539作品を展示した。そのうちこの国際交流留学生プラザ



には、「桜花爛漫」「レッツ3つの色」「シュプリング」の3作品が展示されている。是非多くの人に鑑賞して欲しい。



ステンドグラス「桜花爛漫」(2F)



陶板「レッツ3つの色」(2F)



金属彫刻「シュプリング  
(世界に向かって)」  
(3F 屋上庭園)

パブリックアートのお話の時には沢山の作品がプロジェクターに映し出され、参加者から感嘆の声が上がりました。

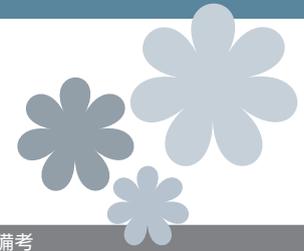
その他にも、ぐるなびでの日本の食文化を守り育てる活動や、趣味の囲碁、特に滝氏が考案し世界で人気となっているペア碁の事など、幅広くパワフルなお話を拝聴致しました。

今までは、お茶の水女子大学や桜蔭会関係者が多く参加されていたのですが、今回は、滝氏の会社関係の方や、東京工業大学関係の方々、留学生プラザの設計をしていただいた隈研吾氏設計事務所の方々、そして地域の方々など様々な方々に参加していただきました。

2019年3月、桜蔭会本部は、「国際交流留学生プラザ」内の「同窓会コモンズ」に移転致しました。果てしなく可能性が広がっていくようなオープンな空間をいくつも持つ建物で、大学との連携を益々深めながら外に向かって開いていく新しいスタートにふさわしい講演会を開催することができ、関係者の皆様にご感謝申し上げます。

(桜蔭会 文化事業部 石亀理子)

パブリックアートの写真提供：お茶の水女子大学



# お茶の水女子大学 イベント情報

2019年10月以降に開催される各種イベントのお知らせです。

開催日時	イベント・講座名	参加費	備考
2019年 10月25日(金) 11月29日(金) 12:30～12:50 12月24日(火) 12:30～13:00* 2020年 1月16日(木) 12:30～12:50	<b>図書館ミニコンサート</b> ドリンクを片手に、ペヒシュタイン社のピアノの音色をお楽しみください。 演奏者：本学音楽表現コース学生 曲目：未定 ※12月24日はクリスマスコンサートです	無料	【会場】附属図書館 1階ウェルカムラウンジ 【詳細】附属図書館 HP「コンサート情報」をご覧ください。 <a href="https://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html">https://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html</a> 【問合せ】附属図書館サービス担当 E-mail: lib-serv@cc.ocha.ac.jp 【申込み】不要
2019年 11月27日(水) 16:40～18:10	<b>女性が輝く TOKYO 懇話会</b> 「ガラスの天井を打ち破れ! ～女性も男性も輝く未来へ～」 出演者：室伏きみ子 お茶の水女子大学長 小池百合子 東京都知事 ほか	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学講堂(徽音堂) 【主催】東京都 【共催】お茶の水女子大学 【詳細】 <a href="http://www.ocha.ac.jp/event/konwa2019.html">http://www.ocha.ac.jp/event/konwa2019.html</a> 【問合せ】お茶の水女子大学「女性が輝く TOKYO 懇話会」事務局 E-mail: konwa2019@cc.ocha.ac.jp 【申込み】要事前申込
2019年 12月9日(月)・ 10日(火)	<b>第14回 国際日本学コンソーシアム</b> グローバル化と日本学Ⅱ	無料	【会場】お茶の水女子大学 文教育学部 1号館 1階第1会議室 【主催】グローバル・リーダーシップ研究所比較日本学教育研究部門 【詳細】 <a href="http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/">http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/</a> 【問合せ】グローバル・リーダーシップ研究所比較日本学教育研究部門 E-mail: ccjs@cc.ocha.ac.jp 【申込み】不要(参加対象は、学内関係者のみ)
2020年 2月7日(金)	<b>お茶の水女子大学附属幼稚園</b> <b>2019年度 第2回 公開保育研究会</b> 研究テーマ『幼児の発達と学びの連続性を踏まえた幼稚園の教育課程(3歳児～5歳児)の編成及び保育の実際とその評価の在り方についての研究開発(2年次)』 ・保育公開、当日の保育についての研究討議 ・講師 加藤繁美先生(東京家政大学子ども学部教授)	一般 1500円 (資料代)	【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園 【主催】お茶の水女子大学附属幼稚園 【詳細】 <a href="http://www.fz.ocha.ac.jp/fy/info/kenkyukai.html">http://www.fz.ocha.ac.jp/fy/info/kenkyukai.html</a> 【問合せ】お茶の水女子大学附属幼稚園 【申込み】70名程度 申込期間 2019年12月9日～13日 申込多数の場合は抽選とします。詳細はHPをご覧ください
2020年 2月20日(木)・ 21日(金)	<b>お茶の水女子大学附属小学校</b> <b>第82回教育実際指導研究会</b>	一般 4000円  学生 2000円	【会場】お茶の水女子大学附属小学校 【主催】お茶の水女子大学附属小学校 NPO法人お茶の水児童教育研究会 【詳細】詳細はHPにてお知らせします <a href="http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/">http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/</a> 【問合せ】Tel: 03-5978-5875 Fax: 03-5978-5872 【申込み】11月下旬ごろ、本校HPにて事前受付開始予定

## 理系女性教育開発共同機構

【問合せ】E-mail: ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5825

開催日時	イベント・講座名	参加費	備考
2019年 11月3日(日) 14:00～16:00	<b>第6回先端科学セミナー「おもしろい生き物の話」</b> ◆山中明(山口大学大学院創成科学研究科(理学系)教授) 『お茶大 COLLECTION FALL/WINTER2019・SPRING/SUMMER2020』-チョウの最新ファッションを読み解く- ◆田川訓史(広島大学大学院統合生命科学研究科附属臨海実験所准教授) 『海の珍しい動物ギボシムシヤムチョウズムシ』	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 306室 【対象】女子高校生・中学生、大学生・大学院生、一般(参加者は身分証を携帯してください。) 【詳細】 <a href="http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/6thsentan/">http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/6thsentan/</a> 【申込】HP内の専用フォームまたはFAX、E-mailで(締切:10月31日)
2019年 11月17日(日) 14:00～17:00	<b>第19回リケジョ - 未来シンポジウム</b> 講演者：樋田朋子(人間・環境科学)、辻有万里(情報科学)、中島幸子(生物学)	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 306室 【対象】女子中高生、保護者、教員、女子大学生・大学院生 【詳細】 <a href="http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/19thrikejo/">http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/19thrikejo/</a> 【申込】HP内の専用フォームまたはFAX、E-mailで(締切:11月14日)
2019年 12月15日(日) 14:00～17:00	<b>第20回リケジョ - 未来シンポジウム</b>	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 306室 【対象】女子中高生、保護者、教員、女子大学生・大学院生 【詳細】 <a href="http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/">http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/</a>

「まなぶ みがく つながる → 一步前へ！」

**お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾** <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>

キャリアアップを目指す女性のための講座です。企業等で指導的立場に就くために必要な経営戦略、組織マネジメント、リーダーシップ、企業会計等に関わる内容を学びます。

**2019年度冬学期** ★ 授業時間 13:30～15:00、15:10～16:40

★ 各講座中に1回ネットワーキングランチ（昼食兼交流会）が開催され、業種を超えたネットワーク作りができます。

講座名	テーマ/開催日	講師	主な内容など
冬学期1月 イノベーションとアントレプレナーシップ/ CSRと情報開示 *部分受講ができます。	「新規事業開発に効く！イノベーションと企業家活動」 2020年1月11日、18日	鹿住 倫世 [専修大学 商学部 教授]	イノベーションの本質や創出、革新的な事業の開発について、講義とケース分析、グループワークを通じて学ぶ。
	「サステナビリティと情報開示（ステークホルダーの視点から）」 2020年1月25日、2月1日 *開催月日に注意	達脇 恵子 [有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 パートナー他]	サステナビリティについて、その歴史を紐解くとともに、ESG投資、SDGs、CSVなどグローバルのトレンドも踏まえて解説し、企業と社会の関係のあり方を考える。
冬学期2月 ビジネスと法律	「女性リーダーが使えるビジネス関連の法律」 2020年2月8日、22日、29日、3月7日 *開催月日に注意	汐崎 浩正 [西村あさひ法律事務所 弁護士 (パートナー)]	日常のビジネスに関係する法律や制度の知識を習得することを目的とする。可能な限り将来の法改正の方向にも触れる。

【場所】お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科棟 6階 604室

【定員】30名程度

【申し込み期間】1月講座 2019年11月11日(月)～2019年12月9日(月)

2月講座 2019年11月11日(月)～2020年1月20日(月)

受講料、お申し込み方法は、募集要項(<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/apply/>)をご確認ください。

【問合せ】お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 事務局 TEL: 03-5978-5501(水・金) E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

## お茶の水女子大学 第70回徽音祭

11月9日(土)、10日(日)

新企画が目白押し!!

きいちゃんに  
会いに行こう!

(きいちゃんグループ)

来たれ、  
知の探求者たち!

(お茶大王)

開かれた  
徽音祭へ!!

(多言語対応・  
バリアフリー拡充)

例年、大好評の企画たちもパワーアップして  
徽音祭を盛りあげます!!

… アクセス …  
東京メトロ 丸の内線 茗荷谷駅、有楽町線 護国寺駅

公式ホームページ



公式 Twitter



きいちゃん Twitter



**お茶の水学術事業会 共催講演会のご案内**

お茶の水地理学会主催講演会

「最近の自然災害の動向と  
地理学における災害への取り組み」

講師：熊木洋太氏  
(専修大学文学部環境地理学科教授)

日時：12月7日(土) 14:00～16:00

会場：お茶の水女子大学 共通講義棟2号館101

\*入場無料・要予約(一般公開、先着50名)

申込み：葉書もしくはEmailのいずれかで、氏名・住所・電話番号を明記して、下記までお申し込みください。卒業生の方は卒年・卒業学科もお書きください。

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 文教育学部地理学コース内 お茶の水地理学会 E-mail: chiriog@yahoo.co.jp

締切り：11月22日(金) 消印有効

みなさまのご参加をお待ちしております。



## 初心者歓迎 2019年度 お茶の水学術事業会セミナー

## こころとからだを拓くレッスン 講師：猪崎 弥生氏、落合 敏行氏

一昨年より開催し大好評の「こころとからだを拓くレッスン」は今回が最後となります。

奮ってご参加ください！

体操でもなく、ヨガでもない、からだからこころに働きかけるダンスです。

決まった動きをなぞるのではなく、音楽に合わせて、

からだから生まれる自然な動きがダンスになります。

男女年齢を問いません。ダンスの経験がなくても、体操が苦手でも、大丈夫！

健やかな毎日を送るためのヒントがきっと見つかります。Let's start !



私のからだは私だけのものです。

私のからだを大切に大切に感じてみましょう。

こころとからだはつながっています。

からだはこころを映す鏡になります。

こころが弱くなると、からだも弱くなります。

こころが元気になると、からだも元気になります。

からだの声を聞いて、こころを拓きましょう！



【開催日時】2019年11月14日(木) 午前10時～11時30分

【会場】お茶の水女子大学 Student Commons 2F マルチパーパス1

【受講料】500円 【定員】25名程度(先着順) ※託児なし

【持ち物・服装】飲み物、動きやすい服装(更衣室あり)

【申込み受付】2019年10月7日(月)～

【問合せ・申込み】お茶の水学術事業会事務局

メールまたはFAXに以下の内容をご記入のうえ、お申し込みください。

① 件名を「セミナー申込み」としてください。

② 氏名(フリガナ)・③住所・④電話・⑤E-mail

E-mail: info@npo-ochanomizu.org TEL&FAX: 03-5976-1478 (月～金、10:00～16:00)

## 猪崎 弥生 Yayoi Izaki



放送大学東京足立学習センター所長・特任教授。お茶の水女子大学名誉教授。専門は舞踊学・舞踊芸術学。上演活動では、2002年「場の記憶」、2004年「明日の眼差し」、2008年「荒地」が名古屋市民芸術祭審査員特別賞(舞踊部門)を受賞。2006年4月より2019年3月までお茶の水女子大学文学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース教授。2019年4月より現職。

## 落合 敏行 Toshiyuki Ochiai



寺山修司主宰の演劇実験室・天井桟敷を経て、現在、企画集団「落合商店」主宰。H・アール・カオスや平山素子、大野慶人、館形比呂一などダンス音楽の作曲と生演奏、蛭川幸雄の演劇作品では楽士として舞台にも登場。

## お茶の水学術事業会 共催講演会・助成金事業

お茶の水学術事業会は、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一つとして以下の事業を行っています。

## 1. 講演等の共催事業

広く一般に向けた参加予定人数が50名以上の講演会を対象とし、講師謝礼金の助成(上限3万円)、講師交通費(実費)の支給、広報協力等を行う。

## 2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業(助成金の支給)

## 【対象】

- (1) 学術・調査・研究・教育等の活動
- (2) 学術関連等の出版事業
- (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
- (4) 国際協力研究・教育支援事業
- (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

【助成金額】事業費の2分の1以内とし、1件につき10万円まで

## 2019年度採択事業

## 1. 共催講演会

(1) 桜蔭会千葉支部主催講演会「これから女子の生きる道～あなたたちを待っているのはどんな社会か?～」(上野千鶴子氏)

(2) 一般社団法人桜蔭会主催講演会

お茶の水女子大学「国際交流留学生プラザ」落成記念公開講演会

「留学生を大切にする日本、文化芸術の価値を知る日本」(滝久雄氏)

(3) お茶の水地理学会主催講演会

「最近の自然災害の動向と地理学における災害への取り組み」(熊木洋太氏)

## 2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業(助成金の支給)

(1) 全国歴史教育研究協議会

第60回研究大会(東京大会)記念講演会・記念誌作成 助成金額:10万円

## 2020年度の共催講演会・助成金事業の募集について

【対象となる事業期間】2020年4月1日～2021年3月31日

【申請受付】2回に分けて受け付けます。

第一次:2019年10月1日～11月30日

第二次:2020年4月1日～5月31日

※受付期間終了後に、審査を行います。

【詳細】お茶の水学術事業会HP「共催・助成金」をご覧ください。

<https://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>

【申請・お問合せ】お茶の水学術事業会事務局

Email: info@npo-ochanomizu.org

TEL:03-5976-1478 (月～金 10時～16時)

## 編集後記

附属高校の授業実践について現場の先生から直接お話を伺える機会に恵まれました。実は私自身には高校時代(と言っても30年以上前!)の家庭科の記憶がほとんどないのですが、附属高校の生徒さん達はそんなことにはならないでしょう。志望者が多い理由の一端を垣間見たような気がしました。

## 広告募集

このページに広告を掲載しませんか?次号は2020年2月に2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問合わせください。

## 事務局

## OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204

TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org

<https://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



## ◆事務局所在地

東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学  
理学部3号館204

## ◆交通機関

地下鉄 丸の内線

茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線

護国寺駅から徒歩8分

都バス

大塚2丁目バス停すぐ

